



富田 たく



です。

事務所 高円寺南3-30-12 電話 3314-5551 FAX 3318-1492
メール info@tomitaku.jp ツイッター http://twitter.com/tomita_taku
ホームページ http://www.tomitaku.jp

平成23年第2回杉並区議会定例会スタート

原発問題・放射能汚染対策を問う!



↑資料を片手に区長に質問する富田たく (2011. 6. 13)

区議として初質問

4月の区議会議員選挙が終了してから、約1ヶ月半、6月13日から新生議会で初めての区議会定例会が始まりました。私・富田たくは、区議会議員として初めての質問を行い、原発問題の区長の政治的姿勢、区内の放射能汚染対策、自然環境保護について問いました。

政・官・財の癒着が

原発事故の根本原因

福島第一原発の事故は、安全対策の不備が指摘されており、その背景には国政での「政・官・財の悪しき癒着構造」があり、利権を追究し安全対策を怠ってきた事が、今回の深刻な被害を発生させました。こういった実態について、区長の見解を問いました。

区長、危険な原発は段階的縮小が重要と答弁

田中良杉並区長は癒着体質を認めることはありませんでした。 「大きな危険を伴う原子力発電については過渡的なエネルギーであるべきであり、将来的には再生可能エネルギーへ切り替わるように段階的に縮小していく事が重要」と答弁。

特別区の首長が「原発の危険性」を認め、「段階的な縮小」を表明したことは重要です。

杉並区のエネルギー政策にも大きな影響を与える事となります。今後引き続き脱原発に向けて、取り組んでいきます。

きめの細かい放射能汚染調査を要求！

放射線量測定がスタート

5月に行った日本共産党杉並区議団の申し入れや区民からの要望を受け、杉並区は放射線量の独自測定を行う方向で、9百27万5千円を補正予算案に組み入れ、大きく分けて区内の東西南北で計4箇所での空間線量、土壌汚染調査を行うことを表明いたしました。

より細かい放射能汚染

の調査を杉並区に要求

区内の保護者の方々からは、小学校や保育園の土壌調査、給食食材の原産地公表、および放射能汚染調査など、子供たちの健康被害を考え、きめの細かい調査を要求する声が多数寄せられたことから、私は一般質問で調査場所を増やすことなどを要求しました。また、費用などは東電に求めることを提案しました。

区、保護者の不安に答えず

しかし、杉並区は東西南北4箇所の測定で大まかな傾向が確認できるとし、細かい放射能汚染の調査はすぐには行わないと答弁。お子さまを抱える保護者の不安に答えることはありませんでした。福島第一原発から流れてきた放射性物質は目に見えないので、どこに滞留しているかは科学的な計測を行わないとわかりません。引き続き、区内での細かい放射能汚染調査が実現できるように、働きかけを行ってまいります。

杉並区議会の録画放送はこちら ⇒ <http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/vod/vodtop.htm>

いきものデータ

- ◆和名：ナミテントウ
- ◆学名：Harmonia axyridis
- ◆分類：節足動物門＞昆虫綱＞甲虫目
＞テントウムシ科



↑ナミテントウの幼虫



杉並のいきもの 紹介⑪

二紋の「ナミテントウ」

済美山のちかくで見つけたナミテントウです。

ナナホシテントウと並んで、日本ではもともとポピュラーなテントウの背中の模様は二紋型や四紋型、斑紋型、無地の紅紋型など、様々なタイプがあります。

幼虫（左の写真）は、ずんどうで背中に棘を持った結構不気味な姿をしています。

好物はアブラムシで、一日に30匹近く食べるといわれており、害虫を食べてくれることから人間の間では益虫といわれています。

救援募金のお願い

震災発生から3ヶ月がたちました。被災地の復興には多くの人手とお金が必要です。復興支援のために、継続的な救援募金へのご理解とご協力をお願いいたします。

日本共産党発行



日刊●月2,900円
日曜版●月800円

放射線の危険性をいち早く報道！

【ご購入の連絡先】

◇日本共産党 富田たく 事務所

TEL：3314-5551

FAX：3318-1492